

◎フルチナーゼ点鼻液 [外]

【重要度】 【一般製剤名】フルチカゾンプロピオン酸エステル fluticasone propionate 【分類】鼻過敏症治療剤

【単位】◎28噴霧用 (4mL), ▼56噴霧用 (8mL) [50 μ g/puff]

【常用量】各鼻腔に1回1噴霧, 1日2回 [最大8噴霧]

【用法】鼻腔に噴霧

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (1)

【保存期腎不全患者への投与方法】減量の必要なし (1)

【特徴】ベクロメタゾンの約2倍の抗炎症作用を持ち全身への影響が少ない。下垂体・副腎皮質機能へは400 μ g/日14日間鼻腔内投与で影響なし。

【主な副作用・毒性】鼻症状 (刺激感、痛み、乾燥感、鼻血、不快臭など)、咽喉頭症状 (刺激感、乾燥感など)、発疹、浮腫、不快な味がする、頭痛

【吸収】20%以下 [po] (11)

【F】9~23% [点鼻, ラット], 26~38% [po, ラット] (1) 初回通過効果を100%近く受けほとんど血中に移行しないため、経口投与でも点鼻や吸入投与でも全身作用はほとんど示さない (11) 吸入後のAUC, Cmaxは健康人に比べ喘息患者で有意に低く, Fは健康人で21.4%, 喘息患者で10.1% (Brutsche MH, et al: Lancet 356: 556-561, 2000)

【tmax】1.0~1.4hr (Brutsche MH, et al: Lancet 356: 556-561, 2000)

【代謝】血中の代謝物として17 β -カルボン酸体 [主代謝物で活性はない], 尿中代謝物として17 β -カルボン酸体およびそのグルクロン酸抱合体が同定 (1) CYP3A4で代謝される (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率: 健康者11.1%、喘息患者21.6% [吸入] (Brutsche MH, et al: Lancet 356: 556-561, 2000) 尿中回収率5%以下 [po] (1) 【CL】1349~1553mL/min (Brutsche MH, et al: Lancet 356: 556-561, 2000)

【t1/2】3.1 [1.7~5.3] hr (11) 5.6~6.1hr (Brutsche MH, et al: Lancet 356: 556-561, 2000)

【蛋白結合率】81~95% (1,11)

【Vd】258L/man [iv] (1,11) 859L/man (Thorsson L, et al: Br J Clin Pharmacol 43: 155-161, 1997) 253~282L/man (Brutsche MH, et al: Lancet 356: 556-561, 2000)

【MW】500.57 [ester]

【透析性】低いと思われる (5) 資料なし (1)

【O/W係数】高い (11) LogP=4.6 [1-オクタノール水系, pH7.0] (1) 【薬物動態】MRT 3.02~3.13hr [1000 μ g \times 2回/日吸入] (Brutsche MH, et al: Lancet 356: 556-561, 2000)

【相互作用】フルチカゾン製剤とCYP3A4阻害作用を有する薬剤 (リトナビル等) との併用でクッシング症候群、副腎皮質機能抑制等の報告がある (1)

【備考】有効な抗菌剤の存在しない感染症、全身真菌症の患者には投与禁忌。結核性疾患、呼吸器感染症、高血圧、糖尿病患者には原則禁忌。呼吸器以外の感染症のある患者、反復性鼻出血の患者には慎重投与。

【更新日】20151114

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。